

SSKW 働こう障害者も 働けるんだオしたちも

こぶしだより

企画：社会福祉法人 こぶしの会 責任者：藤田 勝春 編集責任者：鈴木 順子
編集：こぶし作業所 (〒321-0902) 宇都宮市柳田町1401番地



親睦旅行(草津温泉)にて〈こぶし作業所〉

特集

ご紹介します。
こぶしの会の輝く評議員二三名。

No.273



～ 目 次 ～

- ① 特集..... 2～3 P
- ② こぶし作業所のページ..... 4 P
- ③ けやき作業所のページ..... 5 P
- ④ サポートセンターのページ..... 6 P
- ⑤ セルプ・みらいのページ..... 7 P

ご紹介いたします。 こぶしの会の輝く評議員十二名。

第八八回社会福祉法人こぶしの会理事会（平成一五年九月一五日開催）において、
二三人の評議員の委嘱が決まりましたが、今回はこの評議員について皆さんにお知らせいたします。

評議員とは

さて、そもそも社会福祉法人というものは、社会福祉法に則った社会福祉の事業を営む組織ですが、その事業経営については法律に従ってつくられる定款（社会福祉法人の憲法とも言ふべき一番重要な規則です）に基づいてなされなくてはなりません。

社会福祉法人こぶしの会は三つの障害者の授産施設と精神障害者の地域生活支援センター。一つのデイサービスセンター、四つのグループホーム等様々な福祉事業を営んでいます。これらの法人の内部の業務を処理し、外部に向かって法人を代表するのが理事とい

う役員で、必ず置かなくてはならない機関であると定款に位置づけられています。

また、理事については法人の経営が独断的にならないように最低六人以上（こぶしの会では一人）の理事を置くように義務付けられています。さらに、法人の責任体制を分かりやすくするため、理事長を選び、理事長だけが法人の代表権を持つとしています。

支援費制度の中で

今年度から始まった支援費制度は、措置費時代の理事会の役割を大きく変えようとしています。措置費制度の中では、支給された補

助金を決められた使い方に沿って、きちんと使い切ることが求められました。支援費制度の中では企業も含めたいろいろな経営と競争の時代になるということで、経営の責任がより強く求められるようになっていきます。

一方で、社会福祉という公共性（運営資金の大部分は公的な税金で賄われている）のある事業を行っているのです、その健全性も求められてもいます。

具体的には、幅広い関係者の声を経営に反映することによって、営利に走ることはないように、その民主的で公正な事業を進めるための評議員の設置努力が求められ

ています。（私立学校では必ず置かなくてはならないことになっているそうです。）

民主的で公正な事業を進めるために

こぶしの会の理念の一つに「みんなで作る作業所」というスローガンがあります。言葉を変えると、「こぶしに関わる関係者一人ひとりがこぶしの主人公である。」という民主的経営を目指すことが謳われていると云っていいでしょう。

その具体的なシステムの一つが評議員であるということ。こぶしの会はその設置を決めたの

① 特集

です。

評議員は法人の機関ではなく(法人の経営責任から拘束されない)、法人の組織から離れた評議員会の構成員です。評議員会は理事会が暴走しないように、理事会が法人の経営にとって重要な事柄を決めようとする時は前もってチェックする権限があります。また、評議員と理事が兼任しても公平な判断ができるように、評議員の定数は理事の倍数を義務づけています。(こぶしの会は二三名が定数で、兼任は一人もいません。)さらに、法人の福祉事業がほんとうに利用者の願いに合致したものであるように、積極的な提案のいえる人々が評議員として求められます。その意味で、こぶしの会は素晴らしい評議員会を委嘱しました。

こぶしの評議員を紹介します。まず社会福祉に曹司の深い皆さんです。

永井優子さん(自治医科大学看護学部精神看護学教授)、菊地史郎さん(国分寺養護学校教諭)、

植竹展子さん(コープ福祉介護センター長)、池本喜代正さん(宇

都宮大学教育学部教授、こぶしの会苦情解決第三者委員)、高橋万由美さん(宇都宮大学教育学部教授)、日高定昭さん(作新大学経営学部教授)、田中徹歩さん(弁護士)、狐塚節子さん(元職員)、葭田美知子さん(NPO法人メイアイヘルプユー理事、こぶしの会苦情解決第三者委員)です。経済活動を営む福祉施設として企業関係者の意見を重視しました。

篠原宣之さん(㈱協栄社代表取締役)、鈴木健夫さん(㈱ヘイコーパック社長)、水沼和子さん(コープエナジー取締役)。

障害者団体の代表です。

仁平満さん(全国精神障害者家族会栃木支部やしお会芳賀支部長)、中山全央さん(きょうざれん栃木支部長)、木滑シズ子さん(全国障害者問題研究会栃木支部事務局長)。

働き・暮らすという生活の基本的な部分だけでなく、障害者のつややかな人生を作るために文化・

スポーツ関係者の参加をお願いしました。

増田俊雄さん(宇都宮ハイキングクラブ)、成井恒夫さん(陶芸家)、工藤浩喜さん(ピアノ調律・合唱団指揮者)。

地域での障害者理解をひろげるボランティアの代表も参加しています。

結城博次さん(秋本食品総務部長)、篠原加代子さん(手話サークル)。

最後に、こぶし経営の重要な担い手である法人関係団体の代表で

すが、評議員の性格を生かすためにこぶしの会はこれらを内部組織として捉え、人数を最小限に留めました。こぶしの会の三つの地域拠点でもあります。

職員代表として、金田貢さん(全国福祉保育労働組合こぶし分会長)、家族会代表として、小森孝志さん(けやき作業所等保護者会会長)、後援会代表、佐護操さん(セルプ・みらい後援会会長)です。

以上、こぶしの会には身に余る人材がきらめいています。



こぶし作業所ニュース

親睦旅行

去る11月6日(木)～7日(金)、こぶし作業所では草津温泉に行ってきました。

昨年までは「家族旅行」として保護者の方も一緒に参加していただいていたのですが今年は「親睦旅行」という名の通り、利用者間の親睦をもっと深めようと思い切って利用者と職員・ボランティアさんだけの旅行を企画しました。新たな取り組みでしたが利用者22名の参加があり、また、ボランティアさん5名のご協力があった、この旅行を実行することができました。

朝のうちは雨が降っていました。傘をさしながらバスに乗り込み、さあ出発。自治会長大橋さんの挨拶「今日はみんな楽しんでください」の一言でこの草津への旅行がスタートしました。昼食の場所である渋川市の上州物産店までの道のり、利用者の皆さんもボランティアの皆さんもカラオケを楽しみました。演歌にフォークソング、アニメソング…等等、大盛り上がりでした。そんなみんなの元気に神様は味方してくれたのか、行楽日和とも言える青空になりバスの中は、汗ばむほどでした。

その後、浅間酒造観光センターでの買い物の後、宿であるホテル高松へ到着。草津の温泉街を散策しました。坂道をのぼり階段を少しあがるとそこには湯畑が！見事な光景でした。温泉卵を食べる人やお土産を買う人、みんなそれぞれに過ごしました。その後、ホテルに戻って、お待ちかねの温泉。草津温泉は少し熱めのお湯…とバスガイドさんから説明がありました。日頃の疲れも取れたことでしょうか。宴会は自治会レクリエーション部の人たちの企画でした。おいしい料理にくじ引き・カラオケ、楽しく過ごせたようです。特にカラオケでは、一体誰がこの曲をリクエストしたのかわからないほど、たくさん利用者の皆さんがステージにのぼり、歌う・踊るの大盛り上がりでした。

宴会で思う存分楽しんだので2日目はさぞかし疲れてぐったりしているのだらうと思っておりましたが、草津熱帯圏・竜頭の滝の見学を終えてもカラオケ大会が続いていました。利用者の皆さんの元気には本当に驚かされました。そしてそれ以上に驚き、感激したのは利用者のみなさんのチームワークの力です。初めてこぶしの利用者に出会った看護師さんもそのことが強く印象に残ったようでした。職員としてとても誇らしく感じました。

心配しながらも勇気を出して送り出してくれた保護者のみなさん、また、同行していただいたボランティアの皆さんに感謝いたします。本当にありがとうございました。

日曜作業所 創作活動グループ

11月22日(土)に調理というテーマの中で、日曜作業所を行いました。参加したのは阿部さん、井沢さん、亀田さん、岸さん、見目さん、星野さん、吉永さんです。少し風がりましたが太陽の下で庭にテーブルを出し、焼きそば、串焼きを作りました。串焼きの調理は、お肉をたくさん詰める人、そうでない人と個人差がありましたが、一番印象に残っているのは、太陽の下でおいしそうに食事を、そして楽しそうなみんなの顔です。

日曜作業所 文化活動グループ

11月30日(日)日曜作業所、前回の生花に続いて第2回目の文化活動グループで書道を行いました。

シルバー大学校の在校生を講師(小池百合子先生)に迎え、書道の基礎から始めました。筆のほぐし方、持ち方、使い方、書き方、漢字の一・二から上・下、自分の名前を書く練習を重ねました。書きはじめは、墨をつけすぎてしまうひとや、何となく書いていたひとも、何枚も書いていくうちに、はねるところや、とめるところを学びみるうちに上達していきました。

名前が書き終わると、絵を描いてじゃんけんゲームをして遊びました。参加した利用者全員、姿勢を良くしてきちんと椅子に座って書くことができました。

参加者木村さん・大橋さん・野中さん・高島さん・小池さんの書道がこぶし作業所で掲示してありますので、是非ご覧ください。

けやき作業所

「ジョブコーチ支援」

けやき作業所 袖山 典子

今年の五月からけやき作業所にて仕事をさせていたが、その一ヶ月後に思いがけなくジョブコーチの研修に声がかかりました。一〇年間の施設の職員として働いてきましたが就職の支援はあるがジョブコーチとはほとんど知らず、私に務まるかどうか不安を感じながらのスタートとなりました。

ジョブコーチによる支援とは地域障害者職業センターのカウンセラーが作る支援計画に基づいて、数ヶ月間職場と一緒にいていき、仕事の内容をわかりやすくするために手順を作ったり、仕事におけるマナーやエチケットの指導や、従業員とのコミュニケーションの取り方の助言、作業能率を上げたりミスを減らすための方法を考へて伝えたり、といった本人に対する直接の支援だけでなく、事業所や従業員に障害者の職場適応に必

要な助言(障害の理解や対応の仕方の提案)をしたり、また家族への支援として職場定着できるように生活を支えるための援助の方法のアドバイスをしています。一言で言えば本人と事業所と家族の三者の橋渡し・調整役なのです。

現在三人の方の支援を行っておりますが、本人や家族の複雑な気持ちを受け止めることの難しさや、事業所側の障害に対する理解(本人の能力以上のものを求められたり)がなかなか得られないことで、自分自身が落ち込んでしまうことも多い毎日です。でも就職したいという本人の強い熱意を感じる時、私自身が励まされ、なんとか職場に定着できるような力になりたいと感じるやりがいのある仕事だと思っています。



障害者職業センターと連携しJOBコーチ(利用者と一緒に企業での実習、就職後のフォローアップを行う)の仕事を一生涯頑張っています。(中央上)袖山典子さんです。



けやき情報(11月)

11月16日(日) 芳賀町民祭に参加しました。ハイコーバック様より寄付していただいたクリスマスグッズ、雑煮、コーヒー、コンスープ、パンを販売しました。約24万円の収入がありました。

(けやき作業所後援会)

11月22日(土) 市貝町民祭に参加しました。クリスマスグッズ、コーヒー、コンソータージュを販売し、約7万円の収入がありました。

御協力下さった後援会、地域の方々に厚く感謝申し上げます。

(けやき作業所後援会)



メリークリスマス! マザーコーポレーションの佐藤さんのプレゼント。中庭に素敵なクリスマスツリーが誕生しました。

ヘアカット教室



← 12月6日(土)に有限会社「美王」の野沢先生によるヘアカット&メイク。おしゃれに益々磨きをかけました。(デイサービスセンター主催)

→ 真剣にパソコン(インターネット)に取り組んでいます。

11月22日(土)、23日(日)ジーニック坂本氏を講師に招き、芳賀町生涯学習センターにてIT講習会を行いました。

2日間で、宇都宮の方や益子養護学校の生徒さんをはじめとする約50名の方が参加しました。

(デイサービスセンター主催)

パソコン教室



今日のホリデー



県東ライフサポートセンターだより

ほっとCHA

今年は暖冬といわれていてもやっぱり寒い
いであれ。朝晩の寒さが厳しくなってきた
いまが風邪の気をつけて過ごしてい
きましょう！これからの作業や行事も楽
しくワイワイとがんばりましょう！

待望の

ニューフェイス登場！

毎月行っているフラワーサークル(押し花)に新しい仲間が加わりました。今までは「女性の園」といわれるほど毎回女性の参加者のみでした。しかし、今回は男性が2名加わりいつもとはまた違った雰囲気の押し花でした。

今回参加された男性の方2名と女性の方の感想です。

*最初の押し花にしては、出来はまあまあでした。また、楽しみが一つふえました

*私は初めて押し花教室に参加しましたがいつもは何でもやりたいように思っているのに実際台紙と花だけ出されると思うようにはきれいに出来ない。自由にやるって難しいですね。

*このまへのブローチが私の目に好評でした。今度は私の彼のお母さんに押し花をプレゼントしてみたいと思います。

この感想をお読みになって押し花に参加したい！と思っていたけど、なかなか一歩が踏み出せないでいた方、是非一緒にいかがですか？

声をあげよう！

12月よりほっとCHAではメンバーさんからの声を気軽にたくさん取り入れられるように記事を集めるためのノート「らくがきちょう」なるものを作成しました。このノートにはメンバーさんが日頃感じていることや自慢の絵や詩などを記入していただき、ほっとCHAのスペースに少しずつ載せていきたいと考えています。メンバーさんでほっとCHAデビューを！と考えているかたは是非ご記入ください。

～メンバーからひとこと～

No.1

昨日病院の帰りに壬生町の「山O屋」というラーメン屋さんで「ビリ辛ねぎラーメン中盛」を食べてきました。値段は780円でした。めんのかたさまで容に置いてくれる丁寧なお店でした。でも味は普通ぐらいでした。みなさんもおいしいラーメン屋さん情報を教えてください。

H15.12.4 10:30 T.S

温泉行きませんか？

ほっとCHAでは3月13日(土)に温泉旅行を計画中です。場所は鬼怒川温泉！

現在実行委員会を立ち上げ、コースや日程等検討しています。当事者の方はもちろんのこと、ご家族の方やボランティアさんなど是非ご参加ください！

*実行委員会の飛び入り参加ももちろんOKです。(実施日時はお問い合わせください。)

詳細は次回のこぶしだよりのページでお知らせできると思います。

(バスに定員がありますのでご希望の方はお早めにお申し込みください。)

みらいニュース



きょうざん冬季物資販売活動について

今年、セルプ・みらいでは授産の一環として冬季物資販売活動に取り組みました。厳しい財政の中、低賃金にあるセルプ・みらいの状況を知っていただくことと、冬のボーナスの財源とすることを目的としました。取り組みに当たっては最も還元率の高い「壁掛版 働く仲間のうたカレンダー」を一〇〇本販売することを重視し、真岡市内の学校・保育園・幼稚園・病院・一般企業を中心に依頼にまわろうと仲間、職員で話し合いがされました。また、目標達成に向け、仲間と職員が一緒になってカレンダー販売の看板を作ったり、仲間が目で見分かるように目標絵地図を作成するなど、工夫もしました。

今回の販売活動では馴染みのガソリンスタンドや卒業した学校の先生にお願いしたり、みらいの来訪者にカレンダーを買ってもらうようポスターを持って訴えるなど、仲間自身が個人的にも積極的に取り組む姿がありました。こうした皆の努力で現在のところ、「壁掛版 働く仲間のうたカレンダー」が一五二本と目標を突破し、食品も含め、売上げが六七七、一六〇円、純利益が二二二、五四九円という、嬉しい結果となりました。

その一方で反省点・今後の課題として、①見やすい注文書の作成 ②依頼や受注の工夫 ③販売活動の早期化などの課題が残されました。今回の取り組みを教訓とし、また次回

の活動につながっていく事ができれば良いと思います。

真岡西中学校の文化祭に参加

一月一日(土)に行われた真岡西中学校の文化祭に参加しました。食堂の部のそば・うどんの部を担当し、一年一組の生徒さんといっしょに、天ぷらそば・うどんを来場者に出しました。昼どきは、列ができるほどの大好評でした。

真岡西中学校の皆様、地域の方々ご協力ありがとうございました。

マイ・チャレンジの生徒さん来たる!

真岡西中の二年の女子生徒、二名が、一月一七日〜二二日までセルプ・みらいに職場体験に来ました。仲間といっしょに下請け班で箱折りをしたり、掃除をしたり一生懸命取り組んでくれました。また、その後、お礼の手紙を届けてくれました。手紙の中には、「この体験を通して、人のことを理解するのはとても難しいことだけど、たくさん話しかけたりすることで、相手の人もだんだん心を開いてくれるんだと思いました」や「職員の方々、皆、同じ接し方をしなければならぬ」というのは、大変なんだろうと感じました」ということなどが、書かれていました。本当にご苦労様でした。

セルプ・みらいミュージカル鑑賞

セルプ・みらいでは、一月二八日、

昨年に引き続き日産労連のご招待で、劇団四季によるクリスマスチャリティーミュージカル「嵐の中の子どもたち」を観劇しました。

当日は、午前中の作業時間からみんなどきどきわくわく。去年初めてミュージカルを見た仲間たちも、一年ぶりの生の舞台です。作業中も、「今年は何なんだろうミュージカルをやるの?」、「何時に出かけるの?」、「会場はどこなの?」と、ミュージカルの話で持ちきりでした。昼食をとり、いよいよ出発です。今回の会場は鹿沼なので、少し長めのドライブになりました。今年の座席はいいところだといひねえと、期待して会場へ入ると、みらいは一番後ろの席でした。ちよつと残念。ステージには遠かったけれど、迫力のある舞台に仲間たちもくぎ付けでした。音響スピーカーが座席のすぐ裏にあつたので、臨場感は抜群でした。笑って、うたって、拍手をして、あつという間の二時間でした。終演後、ロビーに下りるとキャストの方たちによるお見送りがありました。みんな笑顔で握手をしていました。記念にぱちりぱちりと写真を撮りました。

「楽しかった」「機関車がすごかった」、「来年もまた行きたい」と、大満足の日となりました。

来年のミュージカルが今からとても楽しみです。



僕たちのこと
もっと知ってほしい!

ボランティア大募集

けやき作業所では、作業・創作活動・GHなどで、利用者さんとの交流をして下さる方を大募集!

興味ある方は、まず連絡を!

けやき作業所
028-687-1040






こぶし作業所・後援会
ボランティア大募集!

1. 日曜作業所
2. 日常の作業の介助
3. キッチン・セルフ
4. フリーマーケットの準備

お待ちしています

お問い合わせ こぶし作業所
☎028 (662) 1911


休日を利用して

体験ボランティアしてみませんか?

○第2けやき・ライフサポートセンターは、なし畑に囲まれたのどかなととてもよいところですよ!

☆第2けやき作業所

☆県東ライフサポートセンター




ボランティア大募集

セルフみらい

箱折り、リサイクル作業
弁当配達のお手伝い
作業ボランティア
... etc

☆仲間と一緒に
楽しい時間を過ごしましょう☆



社会福祉法人 **こぶしの会**

- 法人事務局 こぶし作業所 ☎321-0902 栃木県宇都宮市柳田町1401
TEL 028 (662) 1911 FAX 028 (662) 1912
TEL 028 (613) 5703
E-mail kobusi@chive.ocn.ne.jp
- 生活支援センター
- キッチンセルフ ☎320-8508 栃木県宇都宮市若草1-10-6とちぎ福祉プラザ内
TEL 028 (622) 0966
- こぶしのときわ荘 ☎321-3235 栃木県宇都宮市鑑山町字東原146-7
TEL 028 (667) 5531
- けやき作業所
デイサービスセンター ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2244
TEL 028 (687) 1040 FAX 028 (677) 5789
E-mail keyaki@carrot.ocn.ne.jp
- 第2けやき作業所 ☎321-3303 栃木県芳賀郡芳賀町稲毛田1532
TEL 028 (677) 0495 FAX 028 (687) 4818
TEL 028 (687) 0311 FAX 028 (687) 0325
- 県東ライフサポートセンター
- すずらんの家 ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井2305-2
TEL 028 (677) 4430
- けやきハイツ ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井178
TEL 028 (677) 2876
- 第2けやきホーム ☎321-3304 栃木県芳賀郡芳賀町祖母井1025
TEL 028 (677) 0776
- セルフ・みらい ☎321-4363 栃木県真岡市亀山1043-23
TEL 0285 (81) 1155 FAX 0285 (81) 1177
E-mail selp-mirai@carrot.ocn.ne.jp

発行所 郵便番号 〒300-73

東京都世田谷区砧六-二六-二一
特定非営利活動法人障害者団体定期刊行物協会

定価五〇円